

TODA KOGYO CORP.

ハイドロタルサイト Hydrotalcite

- ハイドロタルサイト製品の総合紹介資料

素材のチカラを未来のタカラに

戸田工業株式会社

ハイドロタルサイト(Hydrotalcite)とは、ハイドロタルク石の別名で、天然に産出する粘土鉱物の一種です。

炭酸型の化学組成が代表的で、その組成は $Mg_6Al_2(OH)_{16}CO_3 \cdot 4(H_2O)$ です。戸田工業ではハイドロタルサイトを人工的に合成しています。

ハイドロタルサイトは一般的にMg/Al系炭酸型層状複水酸化物(LDH : Layered Double Hydroxide)に代表されます。層間の炭酸イオン(CO_3^{2-})とのイオン交換により塩化物イオン(Cl^-)などの陰イオンを吸着します。また、含有する炭酸イオン(CO_3^{2-})が赤外線を吸収し、蓄熱・保温効果を発現します。その他、水分吸着やハロゲンを含むゴムの受酸剤としての機能も発揮します。

戸田工業のハイドロタルサイトは上記特徴を活かして、環境に優しい鉛フリーの塩化ビニル安定剤用材料、農業用ポリオレフィン(農PO)フィルム保温剤、半導体封止剤用イオントラップ材、水処理用陰イオン吸着剤など様々な用途にご利用いただいております。

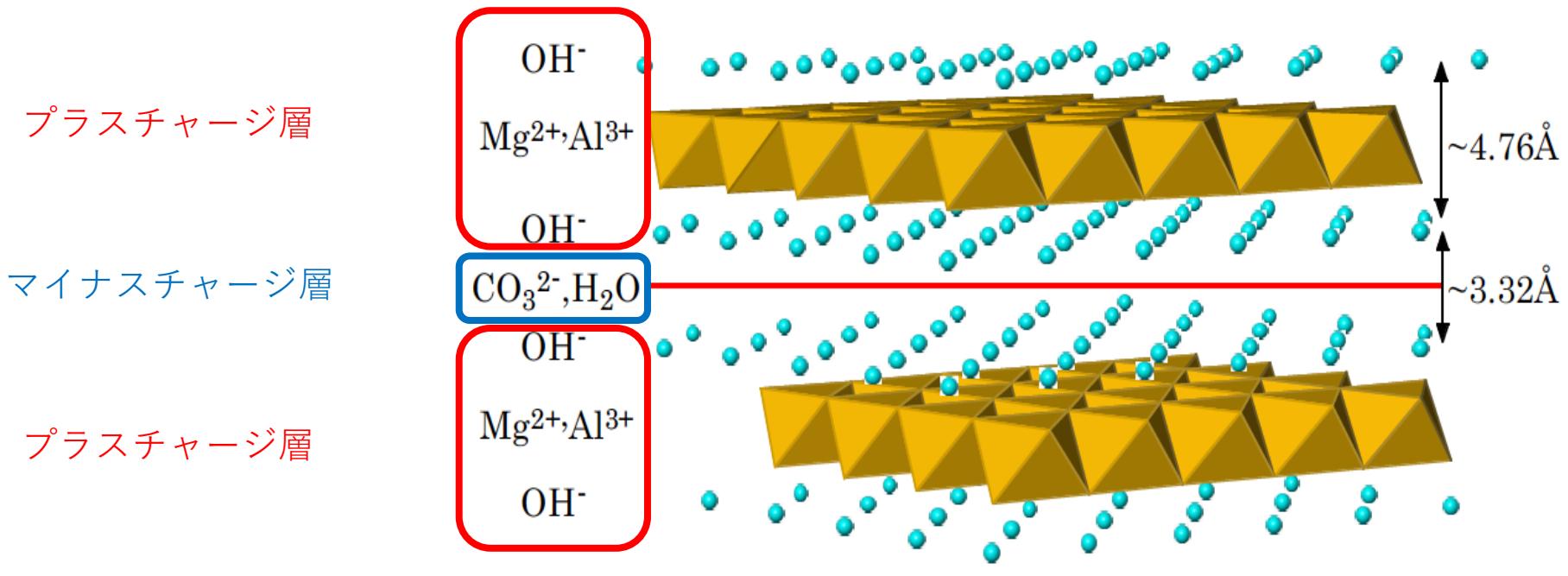
また、長年培ってきた湿式合成技術によって、様々な用途に合わせて最適な粒子形状設計や組成をコントロールすることが可能です。



ハイドロタルサイトの結晶構造(層状構造)

3

代表的な組成 : $Mg_6Al_2(OH)_{16}CO_3 \cdot 4H_2O$

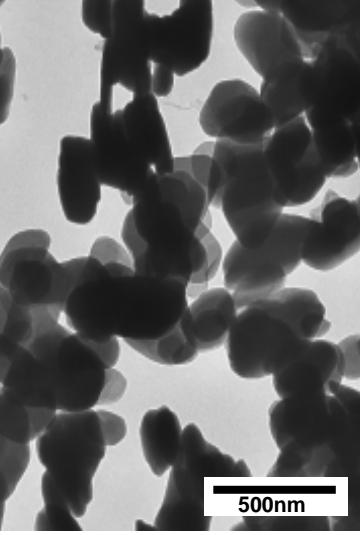
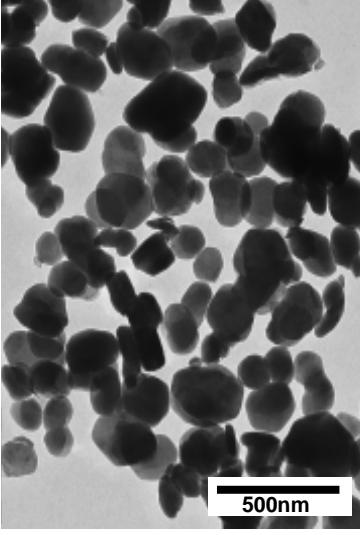
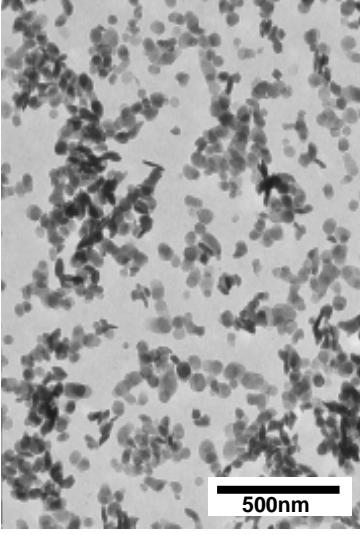


特徴

- ・多様なアニオンと交換可
- ・Mg/Al比を変化可($1.5 \leq Mg/Al \leq 4.0$)
- ・加熱による脱水、脱炭酸で多孔質化

用途

吸着剤 (受酸剤)
触媒担体など

		大粒子	中粒子	小粒子
平均板面径	nm	300	200	60
BET比表面積	m ² /g	12~14	13~15	40~45
電子顕微鏡写真 (透過型)		 500nm	 500nm	 500nm

粒子径の制御技術(特に微粒子)+ハイドロタルサイトの特徴 = 様々な用途への展開

(I) 色々なアニオンをインターハイドロカルボナートする。

- ・ 塩化ビニル用安定剤（鉛フリー）, 触媒残渣の捕捉剤
- ・ 各種アニオン吸着剤



(II) 無色金属の組み合わせでは無色添加剤となる。

- ・ 農業用POフィルムの保温剤（遠赤外吸収能 + 透明性）
- ・ 透明樹脂添加剤（受酸剤、フィラーなど）



(III) 色々な金属（2価, 3価）の組み合わせが可能

- ・ 触媒用途など、機能金属（Ni,Cu,Fe・・・）を固定化



(IV) 水酸化物 ⇌ 酸化物と可逆的に変化（加熱・水和）

- ・ 水分コントロールによる調湿、絶乾機能

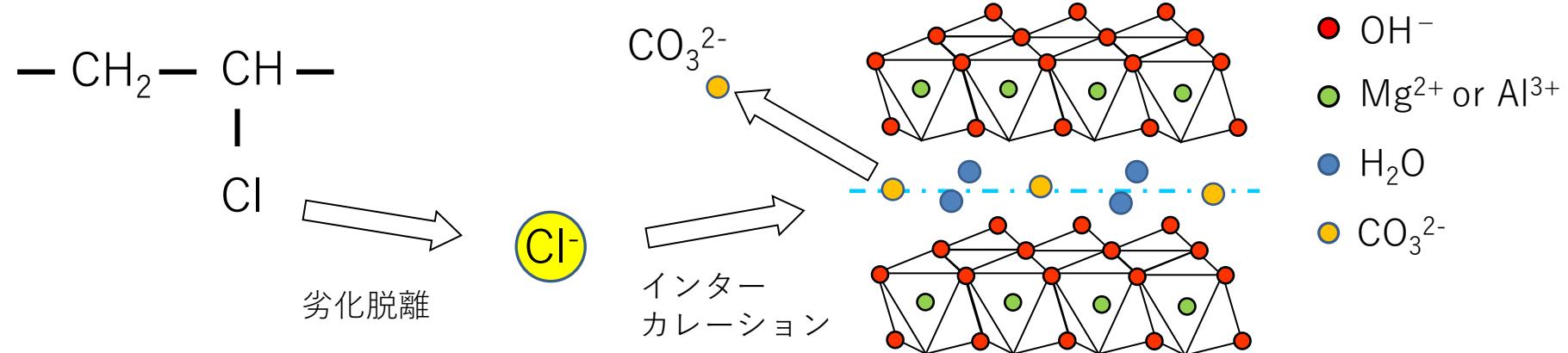
(I) 色々なアニオンをインターカレートする。

6

塩化ビニル用安定剤

紫外線や熱への耐久性を向上させる添加剤として使用されています。

劣化により脱離した塩素をハイドロタルサイトにて捕捉



塩化ビニル樹脂の劣化加速テスト（190℃加熱時間による外観変化の比較）

	(min.)	0	20	40	60	80	100	120	140	160	180
ハイドロタルサイト無									—	—	—
ハイドロタルサイト有											

⇒ ハイドロタルサイトを添加することで大幅に劣化が抑制されていることが分かります。

(I) 色々なアニオンをインターカレートする。

7

半導体封止材用塩素捕捉剤

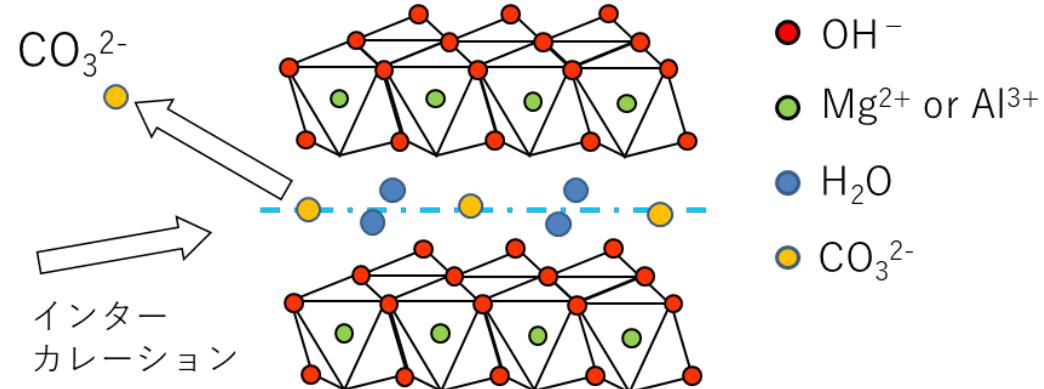
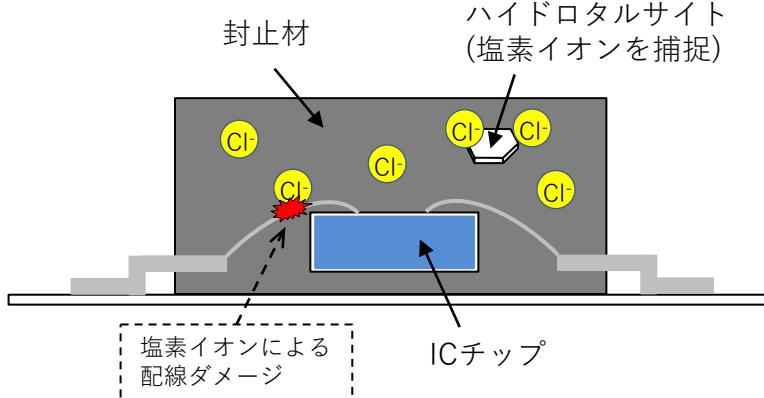
半導体封止材とは、半導体を光、熱、湿気、ほこりや衝撃などから保護する半導体パッケージを構成する材料のひとつです。エポキシやシリコーンなどの樹脂材料、硬化剤、充填剤（フィラー）、添加剤で構成されます。

添加剤の1種にアニオン吸着剤があり、ハイドロタルサイトはその材料として使用されています。ハイドロタルサイトが、樹脂材料に含まれる塩素イオンを捕捉し、配線回路の断線を防ぎます。



- 高い塩素捕捉能
- 配線の微細化に対応した微粒子設計

半導体チップイメージ図



(Ⅱ) 無色金属の組み合わせでは無色添加剤となる。

8

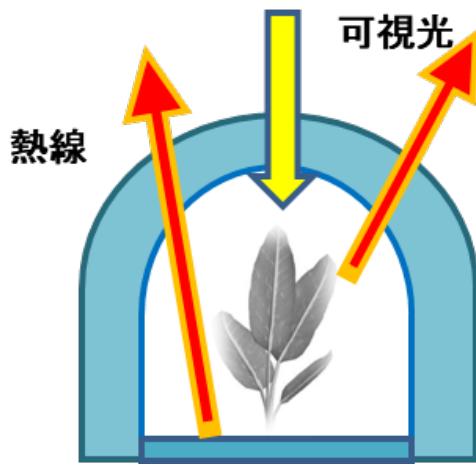
農業用POフィルムの保温剤

透明性を損なわずに高い赤外線吸収能を付与できるため、ポリオレフィン系フィルム添加剤として使用されています。

- 屈折率のコントロール
- 高い赤外線吸収能

ハイドロタルサイトの約 1400 cm^{-1} の吸収帯が地面や植物からの熱線放射を吸収

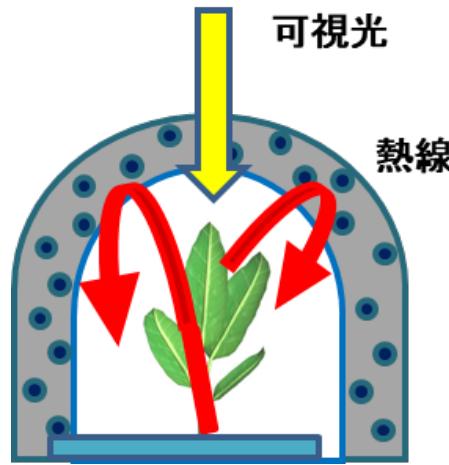
(a) 未添加の農PO



透明だが保温性無

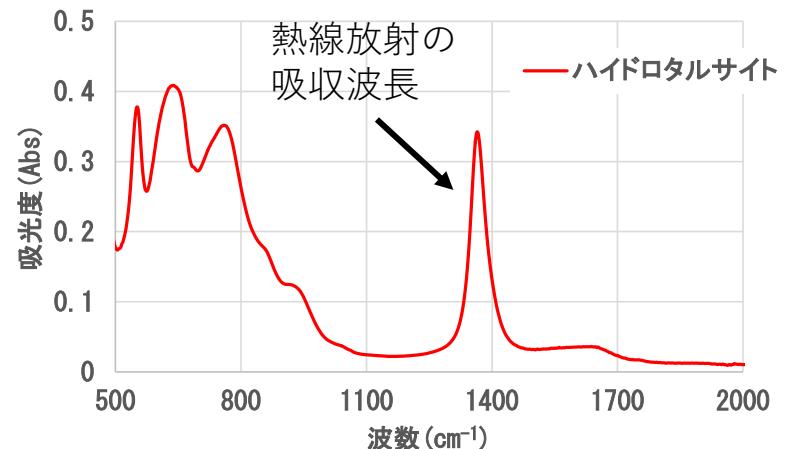
⇒ 夜間は温度が下がる

(b) ハイドロタルサイト
添加農PO



透明且つ保温性有

⇒ 夜間も温度が下がらない。



ハイドロタルサイトの吸光度



【問い合わせ先】

東京OFFICE

〒105-0023 東京都港区芝浦1丁目2番3号 シーバンスS館11階
TEL. 03-5439-6040 FAX. 03-5439-6045

webmaster@todakogyo.co.jp

Ver. 2021/7/5

本資料に記載の内容については、改良・改善の事由により、必要に応じて変更する場合があります。

©TODA KOGYO CORP. 2021. All rights reserved.